

落合直文先生編

# 中等國文讀本

全十冊

定價一ヨリ四迄各二拾錢 郵稅各四錢

本書は、落合先生が高遠なる學識と幾多の研究により編次せられたるものにて、材料の豊富、程度排列の適當なる、以て讀書力を養ひ、作文の模範となし高雅なる思想を養ふ等國文讀本の眞目に於て、採り得るもの、一度世に出づるや非常の好評を得て、各學校に於て續々採用せらるゝの榮を蒙り、然れども、先生の斯道に忠なる猶之を以て是れりせず。程度の適否分量の過不及等、實際教授上の得失を、中學、師範、高等女學校等の當局教員諸氏の意見に徴し之を參照して一大校訂を加へ、文部省の教科書標準にのぞきたる國文讀本なるものに比して、差、天淵のみ非ざることを知るべし。

落合直文先生著

# 日本大文典

全四冊

定價一、二、三各四拾錢 四拾五錢 郵稅各四錢

落合直文先生著

# 新編假名遣

改訂 全二冊 紙刷

定價金三拾錢 郵稅四錢

甲是乙非、常に紛々擾々の間に雜られて、未だ統一する所なきは我假名遣なり、是れが爲、諸々の聞え高き文士の作にも千差萬孔を見るに堪へざるものあり。是れ實に我文學界の最嘆事にあらずや。落合先生は、國文改進の先鋒を以て目せらるゝの士、曩に日本大文典の著あり、卓抜特許の説、天下を變動したりしが、今同、又假名遣を一定せむとて、「新編假名遣」を公にせらる。例證明確、そのよるべき所を指示し、一道の光明、斯界の渾沌を破るの概あり、一語せむには從來紛々の間に在りしものは、是非忽にして判明すべく、操觚の士は鉄蹄なきの作を出すを得む、是れ實に我文學界の珍、中等教育を受けつつある人は勿論、苟も文筆に従ふ人の熱誠研究せざる可らざるものなり。

故文學博士小中村清炬先生著

# 歌舞音樂略史

日本紙刷 全二冊

定價金七拾錢 郵稅六錢

我神代の歌舞音樂より、徳川氏時代の歌舞伎、淨瑠璃、小唄、且唄、三弦、鼓弓の類に至る迄、其事實、起原、沿革等を細叙し、且、數十葉の圖譜を附して、既明したるもの、文士の机上欠く可からざる也。

落合直文先生校閱

## 十六夜日記讀本

定價金八錢 郵稅各四錢

## 竹取物語讀本

註釋付拾五錢 郵稅四錢

## 土佐日記讀本

定價金八錢 註釋付拾三錢 郵稅各四錢

## 方丈記讀本

註釋付拾三錢 郵稅各四錢

本書は、從來ありふれたるものと異り、廣く異本を參照し、送り假名法、假名遣等を一定し、且つ頭註傍註等を加へず専ら讀本體に編纂したるものなれば、教科書として最も適當なるは勿論、別に詳細周なる註釋を附録としたる者あれば、參考用、及獨學用として最も便利也。

朝鮮大院君題字 與謝野鉄幹先生著

新体詩集

# 天地玄黄

定價廿錢 郵稅四錢

今泉定介先生撰

## 保元物語讀本

定價 拾五錢 郵稅 四錢

## 平治物語讀本

定價 拾五錢 郵稅 四錢

## 太平記讀本

定價 三拾錢 郵稅 六錢

## 保元平治物語解釋

定價 貳拾錢 郵稅 貳錢

漢文を用ひずして、よく漢文の莊重をうつし、國文を用ひて、よく國文の優柔を避け、雄渾流暢二つながら具ふるものは、戰記文なり。而も其記事は雄壯勇烈、歴史上の事蹟なれば、國文の模範となり、歴史を知り、併せて、精神鼓舞の資となるもの也。本院茲に、斯學に精通せらるゝ今泉先生に請うて、假名遣、送り假名等を訂正して、此種の讀本を出版すること、はふしゆ。而して、別冊詳細なる解釋のあるれば、初學者と雖も、一讀理解するに難からざる可し。

高等師範學校教授島山健先生校 文部省檢定済

淑徳女學校講師金子元臣先生訂

# 神皇正統記讀本

定價三拾錢 郵稅四錢

國學院講師今泉定介先生校  
學習院講師島野幸次先生編

### 訂中學國史

和 全二冊 裝

定價 上卷拾陸錢 郵稅四錢  
下卷三拾錢 郵稅六錢

從來中學初年級歷史教科書として適當なるもの甚少、高尙に馳せ繁雜に陥り易きは一の弊害なりとす。本書は能く其程度を考へ時間を盡り、尤も簡明に編著せられたるものなれば頗る好評を得たりしが、爾來著者が經驗と研究とにより更に訂正を加へ版を改め公にするに至りたるものなれば、此種の著書中最も良好なるは喋々を要せざる可し。

延岡中學校長 山崎庚午太郎先生 合著  
文學士 大林徳太郎先生 合著

### 中日本史要

クローズ 製全一冊

定價 金六拾五錢 郵稅八錢  
分本 和裝 上卷金廿五錢 郵稅四錢  
下卷金三拾五錢 郵稅六錢

本書は文部省に於て撰定せられたる中學歴史細目に則り、之に多少の補修を加へて編纂したるものにして、其体裁や簡にして要を得、其文章や平易にして流麗也。中學歴史の教科書として適當なる言ふに俟かんや。

村山自彊先生 合編  
中島幹事先生 合編

### 讀文史記列傳抄

全四冊

定價 一、二各二十錢 三、四各二十五錢 郵稅各四錢

編者の例言に曰く、從來史記列傳を讀本として出版せしもの多ありと雖も、其配列は、すべて史選原本の儘なれば、其思想尙にして解し難きもの前に出で、平易にして讀み易きもの却て後にあり。斯の如く難易前後に顛倒しては、中等教育學習の上につき適當せるものさし可からず。よつて本書は、排列の順序も變更し、所謂易より難に入り、單純より複雑に進む元則に従ひ、中等教育の程度と學習時間の配當とに適合せしむることに務め、注意を以て成りたるもの、中等教育讀本として適當なるは喋々を要せざるべし。

青崖山人國分高胤先生著

### 詩董狐

評林 第一集

定價 廿錢 郵稅四錢

伊藤春嶺侯題字 宮崎宣政先生著

### 晴瀾焚詩

附錄 李白傳

定價 三拾錢 郵稅四錢

查根高等女學校長 大久保初雄先生著

### 日本中文典

全二冊

定價 正編金廿五錢 續編金三十五錢 郵稅各四錢

近來日本文典の著多しと雖も、繁簡其度を得ず、以て中等教育諸子の指導たるもの甚だ稀なり。本書は、著者が考案し、多年實地授業の經驗とに因てなりたるものにて、正編に於ては、初學者に雖も通曉し易き様、文典の全辭に付き簡單に説明を與へ、續編に於ては、必要なる部分を選びて詳説し、且つ各編終りに應用問題を掲げ、以て練習に便ならしむる等は本書の特色なりとす。されば中學程度の教科書には勿論、高等學校入學試験、教員檢定試験等受験者には最も適切なるものなり。

文學士 大林徳太郎先生 合著  
延岡中學校長 山崎庚午太郎先生 合著

### 中日本文典

和 全三冊 裝

定價 上下各十五錢 中 二十錢 郵稅各四錢

本書は第一卷に音聲、第貳卷に品詞、第參卷に文章論と、編を分ち極めて平易なる文章を以て日本文典の概略を敘述したるものなれば、中學程度の教科書として尤も適當なるものなり。殊に編中處々に例題及練習問題を挿入したれば、是によりて生徒の實力を養成し亦既修の知識を統括するを得べし。

黒田侯爵題歌 口繪 野中至氏夫妻肖像及富士山  
落合直文先生著 口繪 絶頂劍峯 絶頂所寫 眞石版刷 四版

### たかねの雪

美 全一冊 本

定價 金貳拾五錢 郵稅四錢

眞に野中氏が盛夏登山に難しとする富士山絶頂に越冬の企をなし、妻千代子亦之を助けむため共に登山せしは、遂に千載稀に見るの快事也。不幸病を得て、中途下山の止むを得ざるに至りしと雖も、猶寒中八十日餘日の水き絶頂冬雪の間に籠りて、聞くに悚然たる危険を冒して學術のため勤くされたる不撓の精神は、豈、常人の企て及ぶ所ならむや。本書は、之を廣く世に傳へん爲落合先生が得意の才筆を揮うて細叙したるもの、氏が如何なる苦心をなしたるかを悉知せんことを、は必ず本書を一讀せざる可からず。卷末佐々木信綱氏の短歌及、與野鉄幹子の野中千代子君と題せる新体詩を添へて一冊の光彩を加ふ。

落合直文先生閱 藤井静子女士編 増補再版

### 萩の下露

美 全一冊 本

定價 金貳拾錢 郵稅四錢

落合先生の門下闊秀作家十數名の美文和歌を集めたるものにして、一々先生の嚴密なる校閲を経たれば、作文作歌の模範として絶無の好師友なる可し。

新聲社編纂

青年文叢若葉集

全一冊 定價金拾五錢 郵稅四錢

本書は、所謂青年文士の新作を集めたるものにして、絶行文あり、叙情文あり、隨筆あり、怒りにして山嵐を水流に忍らして花開き鳥歌ひ、光景百變、愈出て愈妙也。素より是を名家の作に比する能はざる點あるも、其趣の純潔清新にして、墨の塵に汚れず、眞情溢るゝ如く、熱血燃ゆるが如きに至つては、到底是を他に求む可らず。是「若葉集」の特色に自ら負ふ所也。現時の青年文士の技倆を知らんを欲するもの、文章練修の師友を得んとするもの必ず一本を座右に備へよ。

明治書院へ御注文の方は爲替拂渡局は神田淡路町郵便受取所、郵券代用は一割増の事

發行所 東京市神田區錦町一丁目 明治書院  
關西大賣捌 大坂市東區備後町四丁目 吉岡平助

國文學

毎月一回二十五日發行  
定價一部 郵稅共貳錢  
第六號六月廿五日發行  
初號賣切二號以下需ニ應ズ

發行所 東京市神田錦町一丁目十番地 國文學雜誌社

「國文學」は國文研究者の最も懇なる師也。最も忠實なる友也。毎號、大河武島内海の諸文學士、落合直文、與謝野鉄幹、佐々木信綱、金子元臣、其他斯道一流の士の國文學上の論說、文話、歌話、文人傳を掲げ、且つ國文學上の實疑には明瞭なる各辭を與へ、毎號實を懸けて和歌を奏り、以て後進の誘掖を勉む。内容の整へるゝ斯の如くし、而して、体裁の美、定價の廉亦他に比た求む可らざる也。

